

平成二十六年度 秋季特別展・特別陳列

飛鳥宮と 難波宮 大津宮

飛鳥宮

～天武天皇がおい求めた宮殿～

特別展示

難波宮と大津宮

～飛鳥宮・藤原京への道のり～

2014.10.11(土)～11.30(日)

主催 奈良県 橿原考古学研究所附属博物館

THE MUSEUM, ARCHAEOLOGICAL INSTITUTE OF KASHIHARA, NARA PREFECTURE

〒641-8601 奈良県橿原市大宮2-2 ●TEL:074-211100 ●FAX:074-211101 ●E-MAIL:naara-kashihara@pref.nara.gov.jp

後援 奈良新聞・奈良大学

「飛鳥宮と難波宮・大津宮」

「飛鳥宮と難波宮・大津宮」は、飛鳥時代から奈良時代にかけての歴史を、考古学的に明らかにしている。この展覧会では、飛鳥時代の宮廷文化の中心地である飛鳥宮を中心に、その後の難波宮と大津宮の発展と変遷を、考古学的な資料を通じて紹介している。また、飛鳥時代の宮廷文化の中心地である飛鳥宮を中心に、その後の難波宮と大津宮の発展と変遷を、考古学的な資料を通じて紹介している。



飛鳥時代の考古学的資料

飛鳥宮

天武天皇がおい求めた宮殿
飛鳥宮・難波宮への道のり



- 飛鳥宮の遺跡
 - 1. 飛鳥宮の遺跡
 - 2. 飛鳥宮の遺跡
 - 3. 飛鳥宮の遺跡
 - 4. 飛鳥宮の遺跡
 - 5. 飛鳥宮の遺跡
 - 6. 飛鳥宮の遺跡
 - 7. 飛鳥宮の遺跡
 - 8. 飛鳥宮の遺跡
 - 9. 飛鳥宮の遺跡
 - 10. 飛鳥宮の遺跡
- 難波宮の遺跡
 - 1. 難波宮の遺跡
 - 2. 難波宮の遺跡
 - 3. 難波宮の遺跡
 - 4. 難波宮の遺跡
 - 5. 難波宮の遺跡
 - 6. 難波宮の遺跡
 - 7. 難波宮の遺跡
 - 8. 難波宮の遺跡
 - 9. 難波宮の遺跡
 - 10. 難波宮の遺跡
- 大津宮の遺跡
 - 1. 大津宮の遺跡
 - 2. 大津宮の遺跡
 - 3. 大津宮の遺跡
 - 4. 大津宮の遺跡
 - 5. 大津宮の遺跡
 - 6. 大津宮の遺跡
 - 7. 大津宮の遺跡
 - 8. 大津宮の遺跡
 - 9. 大津宮の遺跡
 - 10. 大津宮の遺跡



飛鳥宮・難波宮・大津宮の位置関係

春季特別展

弥生時代の墓—死者の世界—

開催結果概要

1. 展覧会

開催趣旨 生きるものにとって「死」はいつか必ずおとずれるものである。このことは弥生時代に生きた人々にとっても同じであった。

「死」に対して弥生時代の人々はどのように接したのだろうか。墓の形態、埋葬施設、着用品や副葬品の有無はその回答の一端を示している。また墓から発掘された遺物や埋葬された人骨の姿勢などから死に至った経緯や人物像がみえてくることもある。

今回の展覧会では、近年調査の進む弥生時代の墓に焦点をあて、Ⅰ. 墓の種類、Ⅱ. 供献土器、Ⅲ. 副葬品と着用品から弥生時代の墓、そして死者への思いについて展示紹介した。

会 期 2014年4月19日(土)～6月22日(日) 会期56日間

主 催 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館

後 援 朝日新聞社

会 場 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 特別展示室ほか

主な展示品 土壙墓／新方遺跡(神戸市教育委員会)、土器棺／田能遺跡(尼崎市教育委員会)、木棺墓(豊中市指定文化財)／勝部遺跡(豊中市教育委員会)、土壙墓／大福遺跡(桜井市教育委員会)、供献土器／原遺跡(五條市教育委員会)、供献土器／宮滝遺跡、三河遺跡、東三河遺跡、羽子田遺跡(以上、当研究所)、供献土器／土橋遺跡(橿原市教育委員会)、井戸出土人骨／長寺遺跡(天理市教育委員会)、青銅製武器鋒／玉津田中遺跡(兵庫県立考古博物館)、指輪(神戸市指定文化財)／新方遺跡(神戸市教育委員会)、ガラス小玉・銅釧(大阪府指定有形文化財)／加美遺跡(大阪市教育委員会)、供献土器(四條畷市指定文化財)／雁屋遺跡(四條畷市教育委員会)、銅釧・碧玉製管玉(兵庫県指定文化財)／田能遺跡(尼崎市教育委員会)、打製石鏃／山賀遺跡(大阪府文化財センター)など

入館者総数 11,203人 図録販売 642冊(会期中)、展示点数 468点

2. 研究講座(※発表順)

第1回「弥生時代の墓—死者の世界—」 4月29日(火・祝) 聴講者 279人

北井利幸「弥生時代の墓—死者の世界—」、石野博信氏「九州の弥生人・近畿に登場—尼崎市田能遺跡—」、対談「弥生時代の墓」(石野博信氏・北井)

第2回研究講座「方形周溝墓研究の今」 5月18日(日) 聴講者 215人

藤井 整氏「方形周溝墓からみた畿内弥生社会」

田中清美氏「加美遺跡の弥生時代中期後葉の巨大な墳丘墓と被葬者像」

第3回研究講座「四分遺跡土壙墓 SX8820 出土男女人骨に迫る—考古学と形質人類学による視点—」 6月8日(日) 聴講者 230人

深澤芳樹氏「四分遺跡で何が起きたのか」、片山一道氏「若き男女の人骨は何を語るのか」

※講座終了後、両氏による四分遺跡の土壙墓 SX8820 出土人骨の解説を特別展示室で実施。

3. 列品解説

4月29日(火・祝) 聴講者 82人、5月18日(日) 聴講者 56人、6月8日(日) 聴講者 136人

4. 特別展の解説と橿原市四分遺跡の見学会

5月10日(土) 10:00～12:00 参加者 69人

5. プリーフガイド／セミナー

5月10日(土)～5月18日(日)、奈良まほろば館(東京都中央区日本橋) 来館入場者数 342人

5月11日(日) 北井利幸「弥生時代の墓—死者の世界—」概説 聴講者 137人

6. 図録 「弥生時代の墓—死者の世界—」特別展図録第81冊、総頁88頁

7. 展示担当 主任学芸員 北井利幸